

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主として外国投資信託への投資を通じて、中国の政府、政府関連機関および地方自治体、もしくは企業等の発行する中国人民元建ての債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS
中国人民元債券ファンド
(毎月決算型)

追加型／海外／債券

第59期 (決算日2023年 8月25日)
第60期 (決算日2023年 9月25日)
第61期 (決算日2023年10月25日)
第62期 (決算日2023年11月27日)
第63期 (決算日2023年12月25日)
第64期 (決算日2024年 1月25日)
作成対象期間 (2023年7月26日～2024年1月25日)

第64期末 (2024年1月25日)

| | |
|--------------------------------------|---------|
| 基準価額 | 13,560円 |
| 純資産総額 | 180百万円 |
| 第59期～第64期 (2023年7月26日～2024年1月25日) | |
| 騰落率* | 6.1% |
| 分配金合計 | 90円 |

※騰落率は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書(全体版)は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名(日経新聞掲載名でも可)を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書(全体版)」のタブをクリック

なお、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2024。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

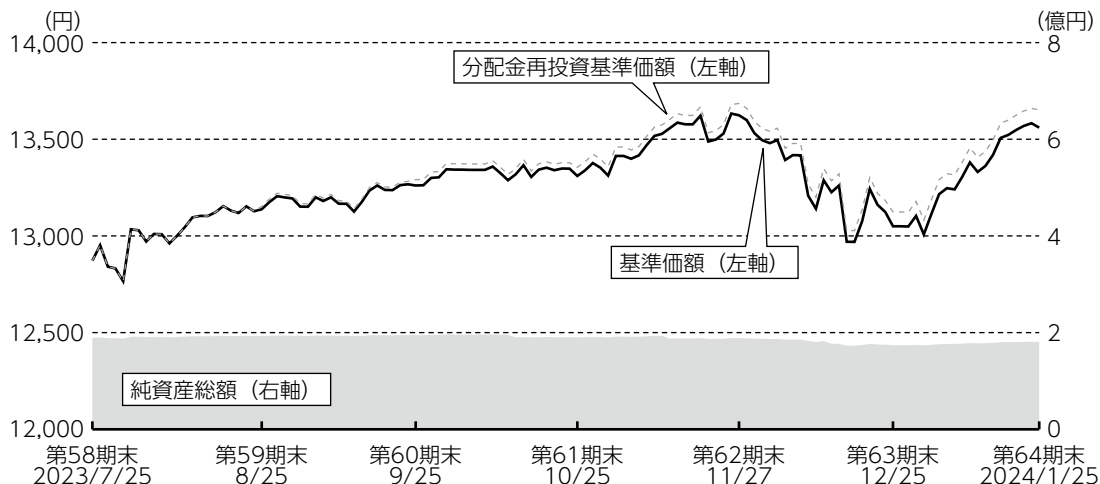
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年7月25日～2024年1月25日)



第59期首：12,872円

第64期末：13,560円（既払分配金 90円）

騰落率： 6.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のおお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期の基準価額は、既払分配金90円（税引前）込みで778円上昇しました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+6.1%となりました。

基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。保有債券の価格上昇と利子収入に加え、為替市場における人民元高・円安の進行も基準価額の上昇に寄与しました。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第59期～第64期 2023/7/26～2024/1/25 | | 項目の概要 |
|---------|----------------------------------|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 75円 | 0.570% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は13,186円です。 |
| （投信会社） | (36) | (0.277) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (36) | (0.276) | 運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (2) | (0.017) | 運用財産の管理、運用指図実行等の対価 |
| その他費用 | 5 | 0.041 | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （監査費用） | (1) | (0.010) | 監査法人等に支払うファンド監査に係る費用 |
| （印刷費用等） | (4) | (0.030) | 法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等 |
| （その他） | (0) | (0.001) | 受益権の管理事務に関連する費用等 |
| 合計 | 80 | 0.611 | |

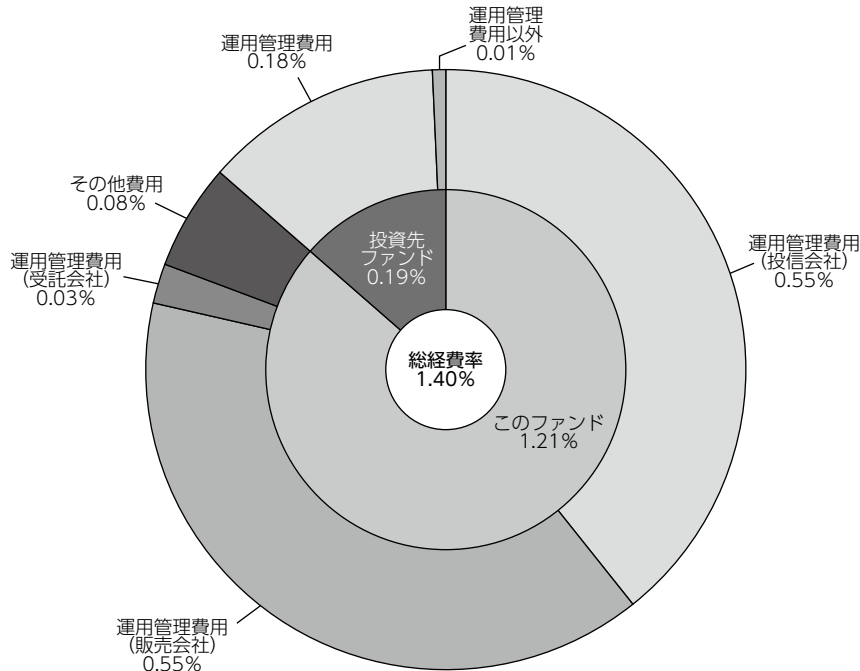
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



| | |
|----------------------|--------------|
| 総経費率 (①+②+③) | 1.40% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.21% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.18% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.01% |

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年1月25日～2024年1月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年1月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

| | 2019年1月25日 期初 | 2020年1月27日 決算日 | 2021年1月25日 決算日 | 2022年1月25日 決算日 | 2023年1月25日 決算日 | 2024年1月25日 決算日 |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,072 | 10,059 | 10,180 | 11,732 | 12,350 | 13,560 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | - | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | - | 1.7 | 3.1 | 17.1 | 6.8 | 11.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 937 | 435 | 216 | 193 | 187 | 180 |

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

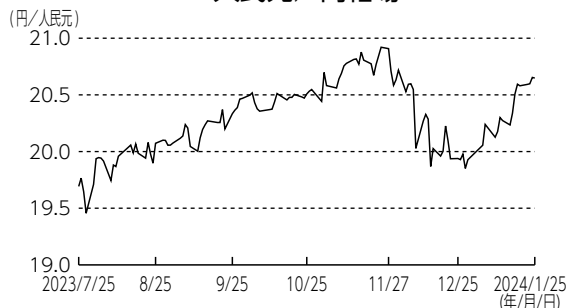
※当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数 (参考指数) はありません。

投資環境について

中国人民元債券市場は上昇しました。作成期の序盤、長引く不動産セクターの低迷に加え、需要不足によりデフレ圧力が広がるなど国内経済の先行きが懸念される中、中国人民銀行（PBOC）が緩やかな金融政策を維持するとの見方から、中国人民元債券市場は上昇基調となりました。その後、一部の経済指標に改善の兆しが見られ、景気に対する過度な警戒感が後退したため、値動きがやや軟化する局面もありました。しかし2023年の終盤以降は、国内株価の下落により債券への資金逃避の動きが生じたほか、PBOCが景気下支えのため金融緩和を強化するとの期待にも後押しされ、再び上昇しました。

人民元の為替相場は上昇しました。当作成期は、作成期を通じて米ドル・円相場の動きに連動する展開が続きました。2023年の後半、日米の金利差を背景とした米ドル高・円安の進行を受けて、人民元も対円で上昇しました。年末にかけては、12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で予想外にハト派的な姿勢が示された一方で、日銀による金融緩和政策の修正観測が広がったため、人民元を含め主要通貨に対して全般的に円高が進行しました。しかし2024年の年明け以降は、米国の早期利下げ観測の後退に伴い、再び円安が進みました。

人民元／円相場



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、UBS（LUX）ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、UBS（LUX）ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB）への投資比率は、作成期を通じて高位を維持しました。

UBS（Lux）ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB）のポートフォリオについて

当ファンドは、主として中国本土で流通している中国政府、中国の政府関連機関および地方自治体、もしくは中国本土の企業等が発行する人民元建て債券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

組入れについては、国債・準国債の比率を高めにした保守的なポートフォリオ構成としました。デュレーションについては、金利水準に応じた機動的な調整を行い、作成期の前半は市場対比やや短め、その後概ね中立とし、作成期末にはやや長めとしました。

UBS (Lux) ボンド・シキャプーチャイナ・フィックスド・インカム (RMB) の組入資産の内容

(2024年1月25日現在)

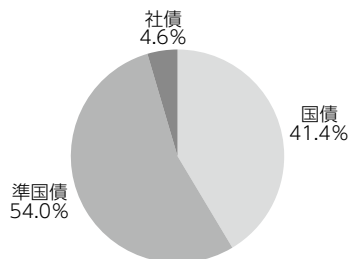
ファンドの特性

| | |
|-----------|-------|
| 平均クーポン | 3.30% |
| 平均最終利回り | 2.66% |
| 修正デュレーション | 6.35年 |
| 組入れ銘柄数 | 52 |

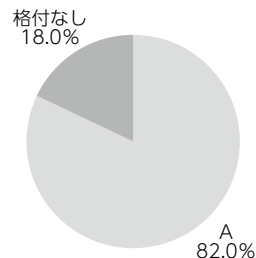
組入上位10銘柄（銘柄数合計：52銘柄）

| 銘柄名 | 種別 | 最終利回り | クーポン | 償還日 | 国際格付 | 構成比 |
|----------|-----|-------|-------|------------|------|------|
| 中国国債 | 国債 | 2.54% | 2.52% | 2033/ 8/25 | A+ | 5.0% |
| 中国銀行 | 準国債 | 3.63% | 4.15% | 2031/ 3/19 | A | 3.7% |
| 中国国債 | 国債 | 2.49% | 2.60% | 2030/ 9/15 | A+ | 3.5% |
| 広東省政府債 | 準国債 | 2.58% | 3.41% | 2031/ 4/21 | 格付なし | 3.1% |
| 中国国債 | 国債 | 2.30% | 3.25% | 2028/11/22 | A+ | 3.1% |
| 中国農業発展銀行 | 準国債 | 2.63% | 3.01% | 2030/ 3/16 | A+ | 3.1% |
| 広東省政府債 | 準国債 | 2.58% | 2.88% | 2030/ 5/13 | 格付なし | 3.0% |
| 中国国家開発銀行 | 準国債 | 2.75% | 4.01% | 2037/ 1/ 9 | A+ | 2.8% |
| 中国国債 | 国債 | 2.80% | 3.12% | 2052/10/25 | A+ | 2.8% |
| 中国国債 | 国債 | 2.80% | 3.32% | 2052/ 4/15 | A+ | 2.7% |

種別構成比



格付別構成（国際格付*）



※構成比は、外国投資信託の債券評価額合計に占める割合です。

※上記は基準日時点におけるデータであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。

* 国際格付は、S&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスの3社の格付機関による格付のうち、2社以上で合致した評価を採用しています。2社以上で合致した評価がなく、3社で評価が異なる場合は、それらの中間の評価を採用しています。ただし、取得できる格付が2社のみの場合は、低い格付を採用しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当作成期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期の分配金は、配当等収益の水準等を勘案し、第59期から第64期までそれぞれ1万口当たり15円（税引前）といたしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

| 項目 | 第59期 | 第60期 | 第61期 | 第62期 | 第63期 | 第64期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 2023年7月26日～ 2023年8月25日 | 2023年8月26日～ 2023年9月25日 | 2023年9月26日～ 2023年10月25日 | 2023年10月26日～ 2023年11月27日 | 2023年11月28日～ 2023年12月25日 | 2023年12月26日～ 2024年1月25日 |
| 当期分配金 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 |
| （対基準価額比率） | (0.114%) | (0.113%) | (0.113%) | (0.110%) | (0.115%) | (0.110%) |
| 当期の収益 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 |
| 当期の収益以外 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,562円 | 3,576円 | 3,588円 | 3,640円 | 3,646円 | 3,662円 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

中国経済の先行きに対する警戒感は強いものの、当局が景気下支えの動きを強め、不動産セクターと民間企業を支援する姿勢を示しています。これにより、消費が現在の低迷から上向けば、中国市場に対する投資家の慎重な見方にも変化が生じていくと期待されます。当局が協調的な景気支援の姿勢を維持している点を踏まえると、中国人民元債券市場への売り圧力が急速に強まる事態が発生する可能性は低いと思われます。また、中国人民元債券は利回り面での魅力があるほか、米国などの他市場との相関性が低い傾向にあるため、分散投資の観点において投資家からの需要が期待できると考えています。

当ファンドの今後の運用方針

UBS (Lux) ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム (RMB) の投資比率を高位に維持する方針です。

UBS (Lux) ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム (RMB) の今後の運用方針

国債や政府機関債、国有企業債を選好する一方、地方政府債については流動性の問題を考慮し、限定的な投資にとどめています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、引き続き、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

お知らせ

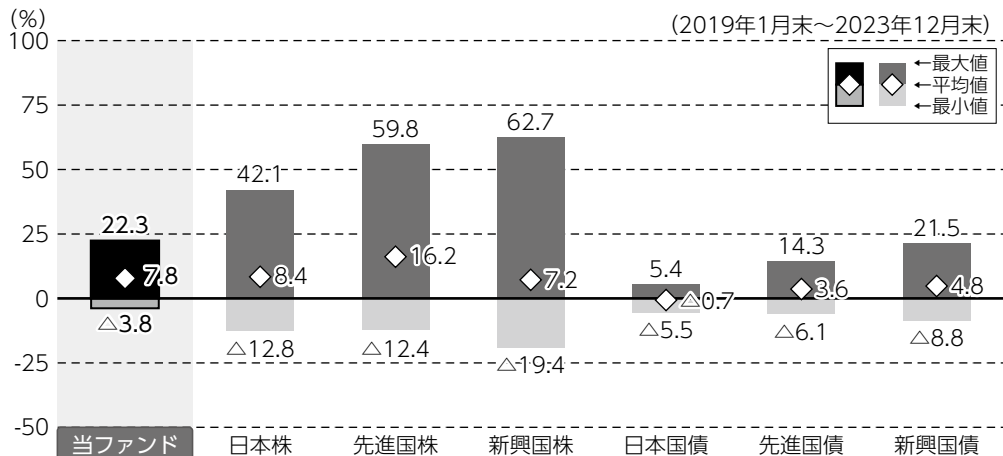
該当事項はありません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型／海外／債券 | |
| 信託期間 | 信託設定日（2018年7月31日）から2028年7月25日まで | |
| 運用方針 | 主として外国投資信託への投資を通じて、中国の政府、政府関連機関および地方自治体、もしくは企業等の発行する中国人民元建ての債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 外国投資信託であるUBS（Lux）ボンド・シキャプチャーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB）（以下「指定外国投資信託」といいます）および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）（以下「指定内国投資信託」といいます）の受益証券または受益権を主要投資対象とします。 | |
| | UBS（Lux）ボンド・シキャプチャーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB） | 中国の政府、政府関連機関および地方自治体、もしくは企業等の発行する中国人民元建ての債券を主要投資対象とします。 |
| | UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） | UBS短期円金利プラス・マザーファンドの受益証券ならびに内外の円建て公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 指定外国投資信託の受益証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。なお、指定外国投資信託と指定内国投資信託との投資比率については、収益性と流動性を鑑み特に制限を設けませんが、通常の運用状況においては指定外国投資信託の受益証券への投資割合を原則として90%以上とします。 | |
| | UBS（Lux）ボンド・シキャプチャーチャイナ・フィックスド・インカム（RMB） | 中国の政府、政府関連機関および地方自治体、もしくは企業等の発行する中国人民元建ての債券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| | UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） | 直接投資を行う場合の公社債については、原則として、購入時においてS&P、ムーディーズ、格付投資情報センター、日本格付研究所のうち1社以上の格付機関より、Aa3/AA-以上の長期格付けが付与されたものに投資を行います。また、購入時において残存期間が2年以内の公社債とします。 UBS短期円金利プラス・マザーファンドの組入れについては、50%以上を維持することを基本とします。 <UBS短期円金利プラス・マザーファンド> 代表的銀行の3ヵ月大口預金金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。 |
| 分配方針 | <p>毎決算時（毎月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p> | |

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2019年1月から2023年12月の5年間（当ファンドは2019年7月から2023年12月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

| | | |
|------|--|--|
| 日本株 | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) | 東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース) | MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) | |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債 | NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) | FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。 |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース) | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。 |

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

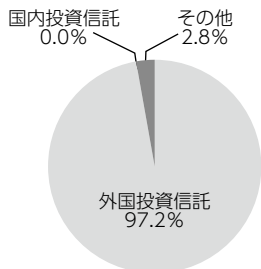
(2024年1月25日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：2銘柄）

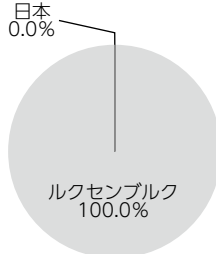
| 銘柄 | 比率 (%) |
|---|--------|
| UBS (Lux) ボンド・シキャプーチャイナ・フィックスド・インカム (RMB) | 97.2 |
| UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） | 0.0 |

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

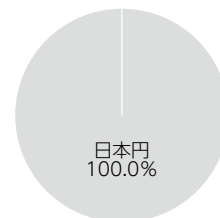
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

| 項目 | 第59期末 2023年8月25日 | 第60期末 2023年9月25日 | 第61期末 2023年10月25日 | 第62期末 2023年11月27日 | 第63期末 2023年12月25日 | 第64期末 2024年1月25日 |
|------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 純資産総額 | 193,042,731円 | 194,862,023円 | 190,254,247円 | 188,612,695円 | 173,993,069円 | 180,790,415円 |
| 受益権総口数 | 146,938,817口 | 146,938,837口 | 142,938,857口 | 138,446,388口 | 133,326,430口 | 133,326,450口 |
| 1万口当たり基準価額 | 13,138円 | 13,261円 | 13,310円 | 13,624円 | 13,050円 | 13,560円 |

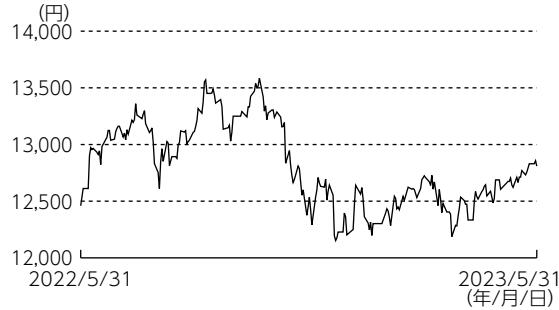
(注) 当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は121円、同解約元本額は13,612,467円です。

(2023年5月31日現在)

組入上位ファンドの概要

◆UBS (Lux) ボンド・シキャブーチャイナ・フィックスド・インカム (RMB)

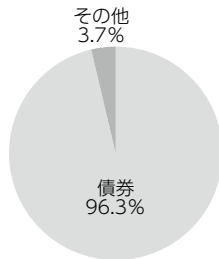
基準価額の推移 (2022年5月31日～2023年5月31日)



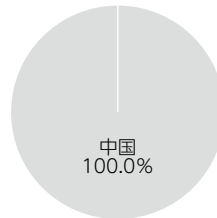
組入上位10銘柄 (銘柄数合計：73銘柄)

| 銘柄名 | 種別 | 国/地域 | 比率(%) |
|--|-----|------|-------|
| CHINA, PEOPLE' S REPUBLIC OF 2.88000% 25.02.33 | 国債 | 中国 | 7.3 |
| CHINA, PEOPLE' S REPUBLIC OF 3.12000% 25.10.52 | 国債 | 中国 | 3.9 |
| PROVINCE OF GUANGDONG CHINA 3.41000% 21.04.31 | 準国債 | 中国 | 2.9 |
| CHINA, PEOPLE' S REPUBLIC OF 3.32000% 15.04.52 | 国債 | 中国 | 2.9 |
| CHINA, PEOPLE' S REPUBLIC OF 2.80000% 15.11.32 | 国債 | 中国 | 2.8 |
| EXPORT-IMPORT BANK OF CHINA 3.86000% 20.05.29 | 準国債 | 中国 | 2.7 |
| CHINA, PEOPLE' S REPUBLIC OF 3.29000% 23.05.29 | 国債 | 中国 | 2.7 |
| PROVINCE OF GUANGDONG CHINA 2.88000% 13.05.30 | 準国債 | 中国 | 2.6 |
| HSBC BANK CHINA CO LTD-REG-S 3.75000% 23.09.23 | 社債 | 中国 | 2.6 |
| BANK OF CHINA LTD-REG-S-SUB 4.15000% 19.03.31 | 準国債 | 中国 | 2.1 |

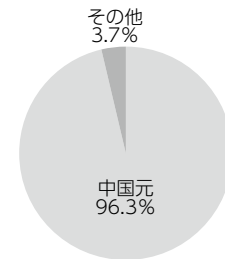
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

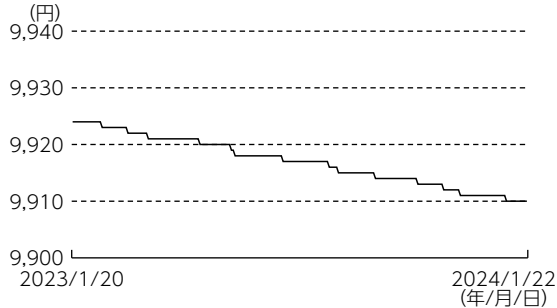
(2024年1月22日現在)

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

基準価額の推移 (2023年1月20日～2024年1月22日)

組入上位銘柄

2024年1月22日現在、有価証券等の組入れはありません。

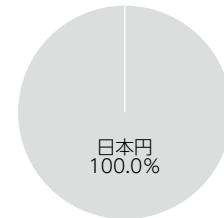
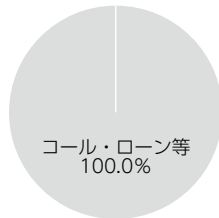


資産別配分

国・地域別配分

通貨別配分

2024年1月22日現在、有価証券等の組入れはありません。



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 2023/1/21～2024/1/22 | |
|--------|---------------------------|---------|
| | 金額 | 比率 |
| 信託報酬 | 4円 | 0.044% |
| （投信会社） | (1) | (0.011) |
| （販売会社） | (0) | (0.001) |
| （受託会社） | (3) | (0.032) |
| その他費用 | 0 | 0.003 |
| （その他） | (0) | (0.003) |
| 合計 | 4 | 0.047 |

※期中の平均基準価額は9,917円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。